



車いすバスケットボール ルール 【ツインバスケットボール】

☆車いすバスケットボールも、通常のバスケットボールのコートの広さや、ゴールの高さ(3.05m)など、基本的なルールは同じです。

【違う点】

- ・ダブルドリブル：なし
- ・トラベリング：タイヤを3回漕ぐ
- ・クラス分け：各々の障がいレベルの重い順から 1.0~4.5 の持ち点が決められており、試合中コート上の5人の持ち点が 14.0 を超えてはいけない

☆「十日町 Unity」では、「ツインバスケットボール」というルールを採用しています。ツインバスケットボールでは、3.05mのゴールの他に、1.2mのゴールがもう1つ配置してあります。狙うゴールが2つある為、ツインバスケットボールと呼びます。1.2mのゴールがある為、小さな子ども達から障がいを持った方までが、楽しく活動できるよう工夫されています。

☆「ツインバスケットボール」は、1.2mのゴールの周囲に、3.6mの円(フリースローサークル)があり、シュートする選手を円内と円外に区別します。障がいの度合いや、年齢、身長などでシュートする場所(円内・円外)が違ふ為、独自の役割を果たすことができます。

